

# コミュニティ

# くまっ

私と人とまちの間に

2017.JUN  
113号

6

編集発行  
公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

## もくじ CONTENTS

### FEATURE

# まちの安全習慣、 元気にいってらっしゃい。

- 2 14年続くあいさつ運動 まちの子は、みんな孫。
- 4 飛び出し坊やは、飛び出さない。
- 5 キミたちのさがしものは この本の中に。
- 6 あなたもボランティア 子どもの見守り
- 8 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
- 9 より道こ道 「志那吉田・北大萱」
- 10 そのまちに…ICT/事業団からのお知らせ
- 11 かぞえてスッキリ! / Next きみたちの草津 / ボイス
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第25回 「この子は幾つ」

### 読者の声

#### みずあそび

水の恋しい季節。サラサラ、ちよろちよろ、ちゃがちゃが、ぶくぶく、パンパパン、ドボン。子どもの耳にはどんな水の音も楽しい。でもね、水を楽しむ子どもを見ている大人はもっと楽しいんだよ。

サンダルは プールの横で わたしまつ (こども歳時記)

あおおと緑が美しい季節です。葉っぱにたまった雨粒がばらばらと落ちてくる様子を「青時雨」。新緑の上を勢よく吹き渡る風は「青嵐」。雨も風も色を帯びてきます。夏に向かい生命力にあふれる、あざやかな季節です。

2017.JUN  
113号

6





子どもや高齢者が巻き込まれる犯罪や事故が後を絶ちません。巧妙になっていく犯罪の手口、少し前なら予測もできなかったような事故…。家庭や関係機関の努力にも限界があります。では、隣近所や地域、そして企業には何ができるのか。今回は「子どもたちをみんなで守る」ことに注目してみます。

「いってきます、いってらっしゃい。」「ただいま、おかえり。」こんな普通の会話が普通に交わされるまちへ。

どうやら、あなたにも“やれること”がありそうですよ。

FEATURE

# 14年続くあいさつ運動

## まちの子は、みんな孫。

富樫真吾さん(82歳 若竹町)

朝8時。渋川小学校には今日も子どもたちが続々と登校してきます。みんな元気です。「おはようございます、おはようございます」。校門でひととき大きな声を子どもたちにかけるこの方は「富樫のおっちゃん」こと、富樫真吾さん。  
14年間子どもたちを見守り、あいさつを続けてきました。



**自問「自分にできること」**  
オレンジの帽子とジャンパーに  
あいさつ運動のタスキをかけ

た富樫さん。真つすぐに立つ姿勢  
と声の張りは82歳という年齢を  
感じさせません。「カクシヤクと  
した」とはこのような人を使う

のでしよう。同居  
するお義母さんの  
介護、最近では奥  
さんの介護が一日  
の大半を占める毎  
日。「だから私の  
地域活動は、朝だ  
けしかできないん  
ですよ」と富樫さ  
ん。頭が下がります。

秋田に生まれ、神戸や京都で  
働いてきた富樫さんが、ここ渋  
川に引越してきたのは約20年  
前。このころ、子どもたちが巻  
き込まれる痛ましい事件が全  
国二ユースで報道されるたびに  
「これは大変。自分にできるこ  
とは何なのか」と常々自問し、朝  
夕の町内パトロールを始めし  
た。富樫のおっちゃん、ついに始  
動です。

### 下を向く子どもたち

渋川小学校が市内13番目の  
小学校として開校して間もなく  
のこと。町内会の役をしていた  
富樫さんはある朝、子どもたち  
の集合場所に行くときがありま  
した。集まっている子どもたちに  
「おはよう！」と声をかけても、  
子どもたちは「……」。下を向き、  
無言の子どもたちが気になって、  
そのまま小学校まで付き添った  
富樫さん。校門で出迎えている  
校長先生に「明日から毎朝、校門  
で子どもたちにあいさつをして  
も良いですか」と了解を得たの  
が始まりでした。14年前のこと  
です。

実はこのころの富樫さんはお  
義母さんの介護も始まり、朝夕  
の町内パトロールが難しい状況  
になっていました。生活のリズム



富樫真吾さん





が変わり、「自分」にできること「も変わりつつあったのです。」

「おはようございます」富樫さんの声かけが始まりました。

ところが子どもたちの返事はありません。子どもたちは町内パトロールをしていた。富樫のおっちゃんのことには知っていても、あいさつは返ってこない。目を伏し、富樫さんの顔を見ない子どももいました。そこで富樫さん、子どもの視線にまでしゃがんで姿勢を落とすように心がけました。すると子どもたちは目を見て「おはようございます」と返してくれるようになったのです。今では「富樫のおっちゃん、おは

よう」とハイタッチする子どももいます。

**大人になっても**

継続は力、14年間も続けると嬉しいことだと思っています。「毎朝、おっちゃんのあいさつで目が覚めます。ありがとう」と書かれた年賀状をもらったり、自転車で通り過ぎる年配の女性から「いつも孫がお世話になりました」と言ってもらったこともあります。小学校の6年間、一度もあいさつを返さなかった子が、中学生になって「おはようございます」と初めて言ってくれたときは本当に嬉しかったそうです。

また先日、「おっちゃん」と若い女性に声をかけられました。赤ちゃんを抱っこしています。あいさつを始めた当時6年生だった女の子が里帰り中に、富樫さんを見かけて声をかけてくれたのです。大人になっても覚えてくれていた、なんとも嬉しい話です。

**地元の子どもはみんな孫**

富樫さんは言います。「草津に住んで20年。私の子も孫も他

のまちで暮らしていて草津とは関係ありません。だから『生まれ育ったまちでもないのに何で続けているの』と聞かれることもあります。私にとって渋川の子どもたちは、どの子も同じ「私の孫」。

今年に入って体調のこともあまり少しお休みしていました。暖かくなって、久しぶりに行く『おっちゃん元気？学校来てくれなかったな』と言われてしまいました。毎朝、私の方が子どもたちから健康と元気をもらっているんですよ。

朝はお父さんもお母さんも仕事に出かけるのに忙しいですし、つい忘れがちだけど夫婦でも親子でも、どんなに近い間柄だって自然とあいさつする家庭がいいなって思います。あいさつは一日の始まりですからね。」

子どもたちの安全が脅かされる事件を聞くたびに心が痛みます。わが子を親だけを守るにも限界があります。そこで学校との連携や地域の活動に積極的に参加して、互いに知り合うことが大切なようです。子どもが危ないことをしていたり、トラブルに巻き込まれそうになったときに、声をかけてくれる大人がいるまちでありたいものです。

んなまちを皆でつくっていくためには、「自分にできること」があなたにも、わたしにもありそうです。

最後のひとりが校門に入るのを確認しホッとした表情で、自転車で自宅に帰る富樫のおっちゃん。  
今日もありがとう。

富樫さんは今年5月に「滋賀県民総あいさつ運動」の表彰を受けられました。



# 飛び出し坊やは、飛び出さない。

## オムロン労働組合の地域社会貢献活動

まちにはたくさんの方がいます。暮らしている人ばかりでなく、そこで働いている人もいます。次は、未来ある子どもたちの安全を守るため、まちにある企業や事業所も一役買っているとお話です。オムロン(株)草津事業所の労働組合では地域社会貢献活動の一つとして、滋賀が誕生の地として今や有名になった飛び出し(注意の看板「飛び出し坊や」を組合員でつくって市内の各学区に寄贈しています)。

「あらかもしれない…」と先のあらゆる危険を考えて運転する「かもしれない運転」が大切ですね。

人は「一旦「大丈夫」と思い込むと、なかなかその考えから抜け出すことができないもの。刻々と変化する運転状況の中で「かもしれない…」と二目でドライバーに教えてくれる看板、そう、あの「飛び出し坊や」です。

ここ草津でも様々な形の看板が地域やPTAの手によって、まちかどに設置されています。

### 飛び出し坊やにも個性

「だろぅ運転」。ドライバーが「多分、安全だろう。」と都合よく思い込んでする運転のことで、一瞬の心の隙間に入り込む油断、車を運転する人なら誰しも経験があるでしょう。「人が出

意識するとまちには色々なタイプの飛び出し坊やがあることに気づきます。市販のものや手づくりのもの、男の子に女の子…その中に、青いシャツと黄色いズボンの坊やを見かけたら、それはオムロン労働組合製のもの。裏に組合名が入っています。

この活動を始めたのが平成20年のこと。組合員だけでなく、その家族が楽しく作業をしながら、年間で3〜4回に分け、計100体もの看板を作製しています。

最初は型どりに始めていた工程も、さすがに時間がかかりすぎるので、今では色塗り作業を組合員で行っています。といっても大変な作業に変わりはありません。基本的な配色だけは決めますが、顔は自由なので作製者の個性が表情に出てきて面白い。組合員は自分の作品がこの学区に設置されたかを知ることができるので、自分の看板を探すのを

楽しみにする組合員もいるとか。毎年100体程度作製するので、もうすぐ1,000体もの飛び出し坊やが生まれることになりました。

### 労働者も、まちの一人

でも、なぜ飛び出し坊や？  
労働組合草津支部の書記長、

影井さんに聞きました。「元々は輩出した市議会議員の議員活動を通じて地域社会貢献活動をしていました。その内の理念・精神は継承しながら、もともと市民の皆さんに身近な活動で継続して取り組めることをやりたいと考えられるようになりました。草津市では飛び出し坊やが不足していることを知り、「地元の子どもたちや高齢者の安全を守る助になっ てくれれば」と、この活動にたどり着きました。

### みんなでつくるまち

「住」という字の成り立ちは「人がその場所にとどまる」意味だそうです。生活や学びの場であれ、職場であれ、縁あって同じまちで過ごす一人ひとりが、そのまちを思い、できることをちよつとずつ持ち寄ることで、まちは今よりも良くなる。まちはみんなでつくる。気づいた人から始める。子どもたちを見守るあ

の坊やたちに教えてもらった気分です。

飛び出し坊やはもちろん、飛び出さないけど、託した思いはどんどん広がります。

取材後記。影井さんは鳥取県の出身。滋賀にきて、飛び出し坊やの多さに首をかしげたけど、滋賀で誕生したことを知って「どおりで…。知らない？」、知れば「…」な話。



オムロン労働組合  
草津支部 支部書記長  
影井雅人さん





## キミたちのさがしものは この本の中に。

### 図書館YAコーナー

色々悩みを抱え、自分を深く見つめる中高生時代。友だちや身近な大人にも相談できず、独り悩むことだってあります。そんなキミたちにおススメしたいのが素敵な本との出会い。キミの心や気持ちに寄り添い、ときには元気や勇気をくれる本がここにはあります。

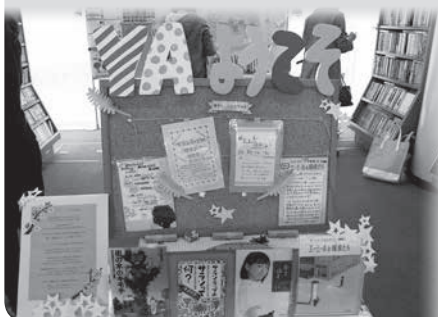
### 図書館は人生の伴走者

「図書館では赤ちゃんから貸出カードがつかれるんですよ。図書館は皆さんの長い人生に寄り添います。良いことばかりじゃないのが人生。困ったり、悩んだりしたときには、いつもそばに本があってほしい。図書館は人生の伴走者のような役割だと思っています」。

市立図書館副館長の二井さんのお話のとおり、図書館は大人から子どもまで、連日たくさんの方が利用します。ただ中高生になると、部活や塾通いで忙しくなり図書館への足が遠くなったり、スマホに夢中で読書の機会も減ってしまうのも気がかりなところとか。

### 今こそ本を

「悩みの多い多感な時期こそ本を」図書館では中高生向けの取り組みが始まっています。大人でもない子どもでもない中高生を「ヤングアダルト」として捉え、本館・南草津図書館の一角にYA(ヤングアダルト)コーナーを設けています。小説・進路・性・い



い

▼イメージ



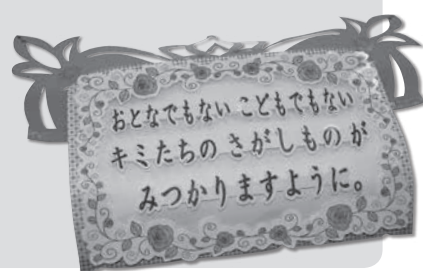
じめに関するものからファッションや楽譜まで、思春期の子どもたちに読んでもらいたい様々なジャンルの本が、ずらりと並びます。中でも説教じみず、そっと背中を押してくれるような人生訓や教訓を取り上げた本が子どもたちに人気だそうです。

本の内容を紹介する手づくりのポップも目を引きまます。実はこのポップ、図書館と市内の高校生がそれぞれで作り、交換しながら展示しているとか。

小学校や中学校にも出向き、一つのテーマに関する様々なジャンルの本を紹介するブックトークや面白いと思った本を紹介しあうビブリオバトルの開催など、本に興味を持ってもらう取り組みにも熱が入ります。

「思春期の子どもたちって反応も関心も素直に表さない難しい年ごろ。ブックトークで反応がないときもめげずに本を紹介します。そんな子どもたちが紹介した本を図書館に借りに来てくれたときは嬉しくて…。遠くで成長を見守る親せきのような気持ちで接しています。」との二井さんの言葉に、思春期の子どもたちの見守り方のヒントを教えてくださいました。

そうそうご紹介のYAコーナー、近ごろの子どもたちの興味や考えに触れることができるので、大人にもおススメです。



## That's 談

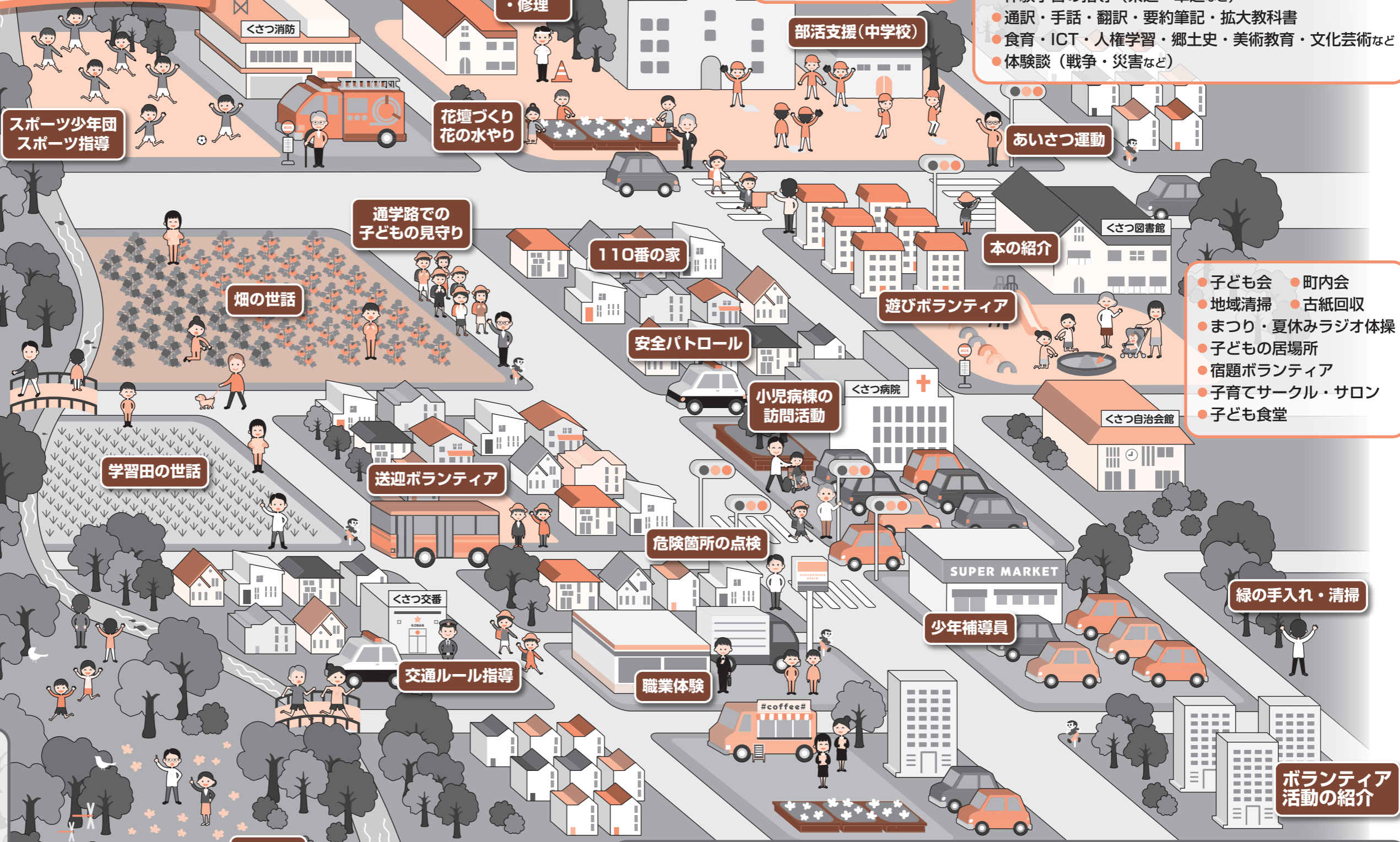


## 見守る

「地域の見守り」についてのつぶやき・エピソードを集めてみました。

- 通学路に立って「お帰り」と声をかけると「まだ家に帰ってない～」と返す子どももいます。「元気な返事やね。『ただいま』って言って欲しいなあ」なんて笑って会話しています。
- 何年も見守り活動をしていると、子どもたちから「おはよう」と声をかけてくれるようになるのが嬉しい。
- 「子どもは飛び出すもの、老人はふらふらするもの」と最初から思ってもらえればイライラすることも無い。
- 最近の子どもを注意することができない。中学生ともなると大人の体格並みでこわい。
- もちつき・焼きいも大会・おまつりなど、地域の大人と子どもが顔を合わせる機会は今こそ大切だ。
- 最近夏休みのラジオ体操も最初と最後の一週間だけ。もっと一緒に体操したいなあ。
- 地域の中で手を振る人がいる、手を振ってもらえる人がいるってというのは、しみじみと幸せを感じる。

# あなたもボランティア 子どもの見守り



### 電話相談

- 悩み・いじめ

### 民生委員・児童委員

### 学校ボランティア

- 図書の整理・貸出
- 校内パトロール
- 読み聞かせ・紙芝居
- 資料室や民具の整理・活用
- トイレなどの清掃
- 体験学習の指導（茶道・華道など）
- 通訳・手話・翻訳・要約筆記・拡大教科書
- 食育・ICT・人権学習・郷土史・美術教育・文化芸術など
- 体験談（戦争・災害など）

- 子ども会
- 町内会
- 地域清掃
- 古紙回収
- まつり・夏休みラジオ体操
- 子どもの居場所
- 宿題ボランティア
- 子育てサークル・サロン
- 子ども食堂

**作成**

- (公財)草津市コミュニティ事業団

**協力**

- 草津市教育委員会 学校教育課
- 草津市立教育研究所
- 草津市立志津南小学校
- (社福)草津市社会福祉協議会

● 子どもの見守りや育ちに関わる活動を抜粋して掲載しています。地域によっては他にもいろいろな活動があります。

● 基本的にあなたも参加できるボランティア活動を中心にまとめましたが、関係機関からの委嘱や業務として行われているものも一部あります。

● 地域や学校によって活動の名称や場所は異なります。また、一般的なものを集めたので、その活動が存在しない地域もあります。





さく・com-com / え・まんじゅう

## くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。  
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる  
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。  
楽しくも少し考えてしまう。  
もしかして…これって、みんなの問題かも。



## 見守り

見守っているつもりが、見守られてもいた。なんとも、かわいい話ですね。

一見、問題の解決とは直接関係ないと思われることが、あとになって「実は大切だった」「功を奏した」なんて経験ありませんか。まちにも当然、色々な問題が起こります。人の基礎体力が病気やウィルスの侵入を左右するように、色々な問題を事前に防いだり、治したりしてくれる“まちの基礎体力”のようなもの。それが、この「互に見守る関係」です。

では、この“まちの基礎体力”はどのようにつけばよいのでしょうか。あなたや私にできることはあるのでしょうか。

あります。それは挨拶。ポイントは「あなたから」「笑顔で」挨拶することです。笑顔で挨拶されてイヤな顔をする人はいません。挨拶はコミュニケーションの入口。そのうち相手からも挨拶や会釈をしてくれたり、ちょっとした会話が生まれたりと関係性が深まっていきます。この関係性に子どもや大人はありません。もちろん住民だとか、企業だとかも関係ない。まちは人の集まり。会えば「あっ、このまちの人だな」と挨拶や会釈を交わす程度の関係が増えれば増えるほど、まちの基礎体力「互に見守る関係」ができていきます。この基礎体力を土台にして具体的な問題について取り組むと、きっと想像以上の効果が得られることでしょう。強いまちをつくるためには、あなたのその一声が必要なのです。

これってやっぱり、みんなの問題。



株式会社 三井田商事

JR南草津駅前に移転しまして6年目を迎えました。  
弊社は京都府下及び滋賀県下でOA機器を販売し、自社でメンテナンスをしております。又、企業・一般の方への水の宅配事業も展開しております。弊社も地域と共に発展したいと考え、**土曜出勤日には駅前及び会社周辺の清掃活動を実施**しております。今後も地域に貢献し、共に成長していけるよう日々努力して参りたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津1丁目1-5  
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！  
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津  
くらし何でも相談  
TEL:077-564-5512  
住所：草津市大路1丁目1-1 TEL:932 4F406

センターへの相談は無料です。

- > くらしサポートセンターしが TEL: 077-522-4600
- > くらしサポートセンターしが大津 TEL: 077-572-7720
- > くらしサポートセンターしが彦根 TEL: 0749-27-3500
- > くらしサポートセンターしが近江八幡 TEL: 0748-37-5522



# より道 こ道



「いつもの道、から  
一歩それてみる。  
大人にこそ寄り道の  
時間が必要だ。」

## 第9回 ● 志那吉田・北大萱

石田 はま子

今回は浜街道の北大萱バス停あたりをより道してみます。バス停から西へ約300mの橘堂の境内には吉田虎之助の胸像があります。明治元

（1868）年、志那吉田に生まれた虎之助は旧常盤村の村長や国会議員も務めた政治家

でした。近くにある生家「吉田家住宅」は県の文化財になっている江戸後期の建物です。

虎之助といえは「淡水真珠養殖の父」としても有名です。琵琶湖での淡水真珠養殖研究に資金や場所を提供し、内湖でイケチヨウガイから大粒の真珠が取れるようになり

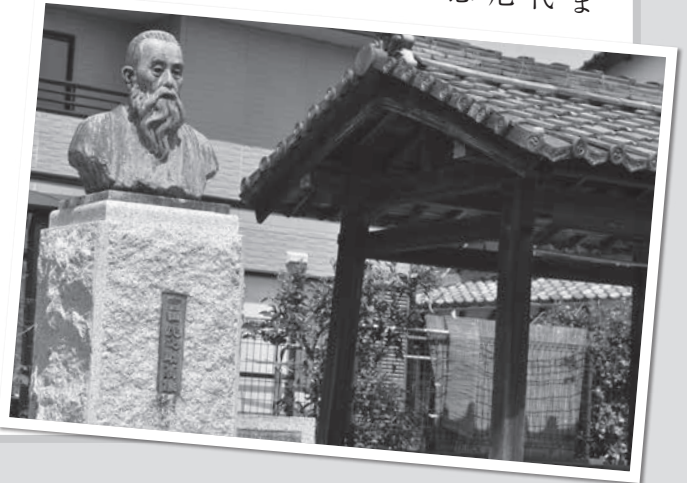
ました。その後の水質悪化で生産は激減しましたが、現在その復活を目指した取組みがされています。

慈恩比丘尼」と刻まれた墓碑、江戸時代に活躍した慈恩尼兼葭の墓です。志那吉田出身の兼葭は心学者石田梅岩に学び、『道德問答』を著しました。

来た道を戻り、

浜街道を横切り北大萱に向かうと寶光寺と大萱神社。拜殿にある大きな鯛の絵馬に笑みが浮かびます。寶光寺の境内には「天武天皇御剃髮地」とする宝篋印塔や古い石

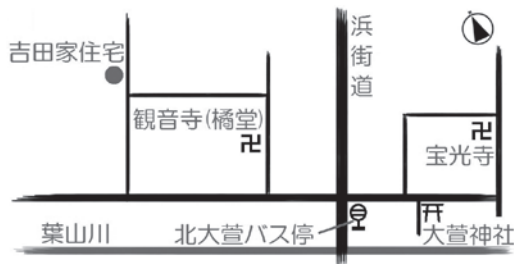
仏なんかもあり、この地が古くから栄えていたことを物語ります。ここで耳より情報。本尊の薬師如来立像（平安・重要文化財）がこの夏、16年ぶりに開扉されます。今年の夏は志那吉田や北大萱が熱そうです。



橘堂には六つの手と三つの顔を持つ珍しい観音様「三面六臂観音像」（平安時代・市文化財）がまつられています。横田勘平門人 兼葭亭

公開 8/9(水)~13(日)

- 宝光寺
  - ・薬師如来立像
  - ・綾堂
  - ・阿弥陀堂
- 橘堂
  - ・十一面観世音菩薩像



スマイ印刷は、自然環境を守る地球に優しい製品づくり「エコ印刷」に取り組んでいます。

SUMAI

株式会社スマイ印刷 [sumaiprint.com](http://sumaiprint.com)

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890  
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525  
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045

読売新聞

街の安心、安全、  
教育、環境を  
応援していきます。

草津五店会 TEL 077-568-2146



# そのまちに… いくと ICT



## ICTがやってきた。

ずいぶんと身近に、わかりやすくなったICT（情報通信技術）。今こそ、あなたのまちのコミュニティに活かすチャンスです。そんな事例を毎回ご紹介します。

## Beacon ビーコン

子どもが登下校中に危ない目に遭っていないだろうか…。気になる保護者も多いのではないのでしょうか。子どもの安全を常に確認したい、そんな親心を可能にするのがBeacon。今回はBeaconを活かした位置情報サービスについて紹介します。

Beacon とは自らの存在を知らせるために発する無線信号のことで、もともと「のろし」とか「かがり火」といった意味。街中に設置された端末に「見守る対象者」が携行する小型端末が近付くと反応する仕組みで、この技術を活用し順々と情報を伝達することで保護者に子どもの位置情報や学校到着時刻などの情報がリアルタイムに確認ができたり、メールなどで届くようになります。本当にのろしのようなですね。箕面市（大阪府）では500カ所に端末を設置し、全児童約11,000人にモバイル端末を無償配布するなど、子どもの見回りツールとして注目を集めています。



## なごみの郷 夏まつり

8月6日（日）10:00～15:00

無料（一部材料費必要）

- みんなで江州音頭を踊りましょう
- カラオケ大会（キッズの参加大歓迎!）
- うちわづくり体験
- 陶板で手型プレートづくり
- 科学実験コーナー
- 模擬店・青空市もあります



詳しくはなごみの郷HP  
<http://kusatsu-nagomi.net>



みなさまの応援・ご協力をお待ちしています!

## 草津市コミュニティ事業団ファンクラブ まち活マッチの会

草津市コミュニティ事業団ではファンクラブ「まち活マッチの会」の会員を募集しています。

事業団が取り組む様々な活動やイベントに参加して、「まち活マッチ」と一緒に草津のまちを盛り上げましょう!



特典

入会記念品プレゼント（まち活マッチグッズ）& 各施設で利用できる様々な特典

年会費

1,000円

入会

下記窓口にてお申し込みください。

受付

まちづくりセンター／なごみの郷／長寿の郷  
ロクハ荘／ロクハ公園／草津クリアホール  
草津アマカホール



問合せ

企画総務課

T 565-0404 F 565-1221

HP [community@kusatsu.or.jp](mailto:community@kusatsu.or.jp)



もう1枚!



“伝わる”まちづくり情報誌をつくりたい。  
毎号、撮影する約1,000枚の中から写真を厳選しています。惜しくも掲載できなかった写真の中から、載せたかった“もう1枚”を不定期でお届けします。



GW。汗ばむ陽気となったこの日。ロクハ公園に遊びにきていた家族連れのひとつコマ、バーベキューが一段落したら、お父さんやお兄ちゃんたちと野球です。バットの握り方や構え方なんて気にしません。いいんです、ボールが当たれば。

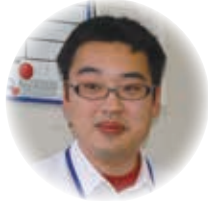


# Next きみたちの草津

次代の草津を担う若い人たちの眼に、ここ“草津”はどのように映っているのでしょうか。見えてくる明日の草津の姿があります。

## 志津南学区まちづくり協議会職員

ふちかわ  
**瀧側良太さん**(32歳)



大学時代を除いて、ずっとここ志津南で暮らしています。高校2年生のとき、父親が亡くなりました。突然のできごとで、家族みんながショックを受けていました。そんなとき、近所の人たちが父親をしのぶ会を開いてくれ、地域に支えられていることを実感しました。

その後も、地域のボランティア活動に誘ってもらうようになりました。中には、友だちのお父さんなんかもたくさんいます。そんな家族的なこのまちが大好きで、平成28年にまちづくり協議会の職員になりました。自分を支えてくれた地域の人たちに恩返しができる仕事に就けたことが嬉しいし、大変かわいがってもらっています。

志津南は良いまちです。高齢化は気になりますが、地域を支えてくれるボランティア活動も盛んだし、私たち若い世代もふるさと意識をちゃんと持っています。今は一日でも早く「かわいがられる存在」から「頼りにされる存在」になって、皆さんの活動を裏方としてサポートしていきたい。それが支えてくれたこのまちへの、私の恩返しです。



夏といえばプール。ロクハ公園の流水・スライダープールは、歓声や多くの人の笑顔で毎日にぎやか。夏の青がまぶしいですね。さてイラストの中に帽子をかぶった人は何人いるかな。

ヒント：帽子といってもいろいろあるよ。



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

### 応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えてご応募ください。FAX、メールでもご応募できます。

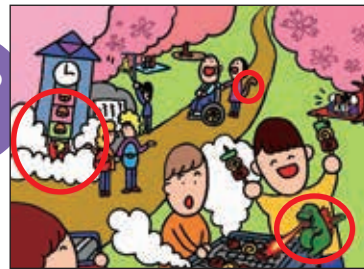
※切 **6月30日(金)** 当日消印有効

宛先 〒525-0037 草津市西大路町9番6号  
 (公財)草津市コミュニティ事業団「コミュニティくさつ6月号」係  
 ☑ com-com@mx.biwa.ne.jp ☎562-9340

### プレゼント

正解者の中から抽選でロクハプール親子ペアチケット(900円相当)を5名様にプレゼント。

### 前回の答え



- 時計台がロケットに。びっくり!
- 車を押す人にシッポがある。
- ミニゴジラが肉を焼いているぞ。

たくさんのご応募ありがとうございました。

※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することはありません。

# ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

## 雨は好き? きらい?

クリアホール

まちセン

きらい

ロクハ公園

すき

すき

すき

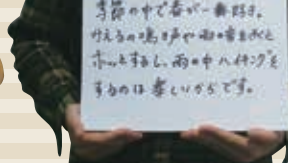
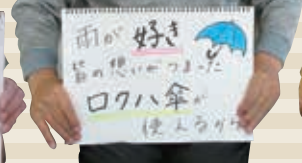
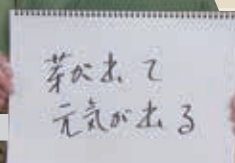
すき

すき

ロクハ荘

アマカホール

なごみの郷





熊谷栄三郎の  
**徒然草津**  
つれづれくさつ

第25回

この子は幾つ

熊谷栄三郎



草津は犬好きにはうれしい町である。夕方など、少し歩いていると、散歩中の五匹や六匹のワンちゃんに出会える。車や人でごったがえす京などでは、そうはいかない。

いつごろからか、散歩中の犬に出会おうと、同伴の人に「この子は幾つですか」と年齢を尋ねるのが癖になった。

そんな問いかけに、不愉快な顔で答えてもらい、さらにそのワンちゃんの性質や家族との交流の様子を楽しそうに話してもらえ

る。このとき忘れてはならないのは、ワンちゃんの顔を見ながら「この子は」と表現することだ。「この犬は」というより「この子は」という方が話は弾むように思う。

主語抜きで単に「幾つですか」と問うて失敗したことがある。十数年前。葉山川の土手でよほよほの犬を連れのお婆さんに「幾つですか」と、犬を観ながら聞いたら「八十。まだまだ元気じゃ」と返事があった。

今年に入って、もう百人以上に「この子は幾つ?」と聞いた。うれしいことにワンちゃんも長生きになってきている。十三歳ほどで亡くなるのが普通だと思っていたが、近ごろでは十五歳以上も、そう珍しくないようだ。

春、シバ犬を連れ男性に尋ねると「十九歳。もう目も見えん耳も聞こえんけど散歩は出来る」ということだった。実見した犬ではこれが最高齢。

その後のこと、幼犬と散歩中の奥さんに、私が十九歳のシバ犬を見たというと「うちの近所に二十三歳のマルチーズがいます。弱っていたけど、また歩けるようになっていきますよ」ということだった。伝聞での最高齢。

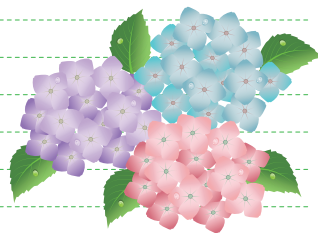
他にも面白いことがいくらかもある。例えばこの前、中年の女性が同伴の犬を見ながら「この人散歩が好きだね」と言った。別の女性は、連れていた二匹の幼犬の関係を「この人ら、他人どうしですわ」と表現してくれた。草津のこんな散歩、とにかく楽しい。

読者の声

たくさんのご意見ありがとうございます。

3/15号「ゆく川の流れば、未来へ」に寄せられた感想から

- 徒然草津の熊谷栄三郎さんのエッセイいつも楽しみにしています。
- 昔の草津川は動物が現れたり、虫の音色がきれいだったり自然と人にあふれていたんですね。変わっていく草津の街並み、草津川を悲しく思われている方も多いのかなと思いました。そんな人たちのためにも、これからの世代が活気ある新草津川にしていかななくてはいけないと痛感しました。草津川跡地公園を楽しんでいます。
- 草津に住まいして30年が過ぎました。あっという間。先日、まめバスに乗って南草津へ向かいました。バスの窓から見た風景は「より道 公道」で見た写真そのまま。ねじれマンボと呼ばれているのですね。街はうつろい変わっていくけれど気配はそこに残る。草津川の気配はどんな風に残っていくんだろう。
- 草津に住んでいながら初めて知る情報も多く、生活に仕事にとでも役立つ、参考にしています。地道に活動されている方の紹介は励みになりますね。
- まちがいさがしの問題が好きです。ゴジラの火でバーベキューなんかおもしろいなあ。



「コミュニティくさつ」は、  
みんなで作る  
まちづくり情報誌です!

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえ市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身のサークルや団体メンバーに本誌を配布してくれる人



● 申込み・問合せ ●  
(公財)草津市コミュニティ事業団  
まちづくり振興課内  
コミュニティくさつ編集部

広告掲載募集

本誌への広告掲載を希望する団体または企業を募集します。ただし企業の場合は本誌の趣旨を理解した上で、物品やサービスの販売でなく、企業の地域貢献や社会貢献の周知に限ります。

- 1回1枠(名刺サイズ)5,000円
- 【コミュニティくさつ】
- 約59,500部発行(年4回)
- 市内全戸配布のほか、市内公共施設や銀行等に配架

● 申込み・問合せ ● (公財)草津市コミュニティ事業団 ☎ 565-0477

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費削減などで得る独自の収益金のほか草津市費、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

